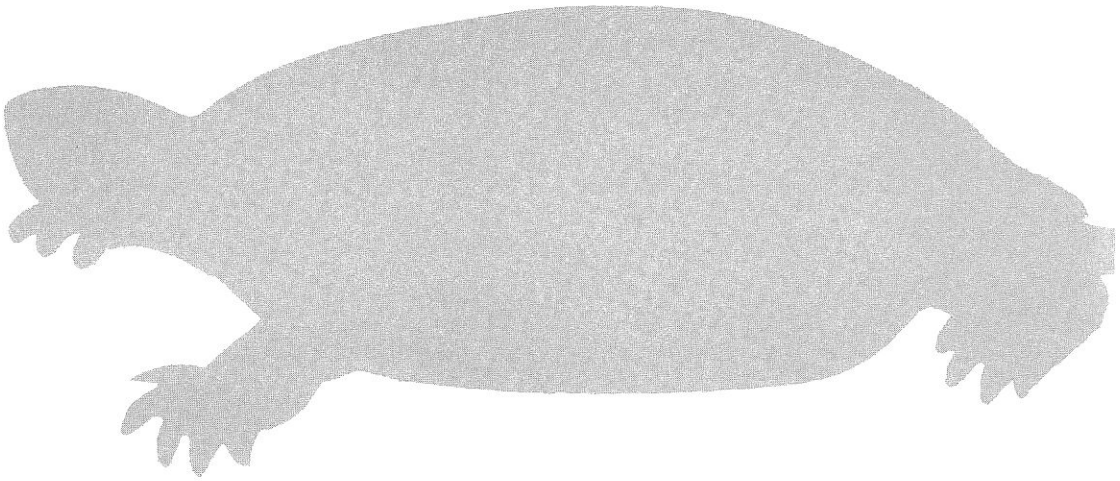
セキツイ動物〈ハ虫類〉



REPTILIA　　ハ虫類

Cheloniidae　　ウミガメ科

アオウミガメ　*Chelonia mydas japonica (Thunberg)*
県内での産卵も観察されるがアカウミガメより少ない。鹿児島県では保護条例により保護されている。

枕崎市枕崎沖	*1958-03-22*	不明	*RE0-30*

アカウミガメ　*Caretta caretta (Linnaeus)*
県内では最もよく知られているウミガメで，屋久島，吹上浜，山川町長崎鼻など各地で産卵が観察されている。鹿児島県では保護条例により保護されている。

福山町	*1958-06*	不明	*RE0-35*

アカウミガメ（幼体）　*Caretta caretta (Linnaeus)*　*5*

山川町長崎鼻	*1986-02-16*	*RE85-5-1*
山川町長崎鼻	*1986-02-16*	*RE85-5-2*
山川町長崎鼻	*1986-02-16*	*RE85-5-3*
山川町長崎鼻	*1986-02-16*	*RE85-5-4*
山川町長崎鼻	*1986-02-16*	*RE85-5-5*

アカウミガメ（卵）　*Caretta caretta (Linnaeus)*

山川町長崎鼻	*1986-06-07*	鮫島　正道	*RE86-1*

タイマイ　*Eretmochelys imbricata Linnaeus*
熱帯，亜熱帯に分布し，本県でも見られたが現在ではほとんど見られなくなった。ベッコウ細工の原料として利用されるが，ワシントン条約によって，外国産の輸入も禁止になっている。

不明	*1951*	不明	*RE0-19*

Testudinidae　　カメ科

イシガメ　*Mauremys japonica (Temminck et Schlegel)*　*2*
本州，四国，九州，種子島に分布し，平地の池から山地の渓流まで各地の河川，湖沼に生息する。子ガメを「ゼニガメ」ともいう。種子島が南限となっている。

不明		不明	*RE0-50*	*2*

ミナミイシガメ　*Mauremys mutica (Cantor)*
石垣島，西表島，与那国島に分布し，沼地や水田に生息する。種子島の本標本は，移入されたものと思われる。

種子島　西之表市	*1958-03-29*	不明	*RE0-32*

Trionychidae　スッポン科

スッポン　*Pelodiscus sinensis Wiegmann*　2
本州，四国，九州，種子島に分布し，県本土でも各地の河川に生息する。

不明	不明	*RE0-49*	2

Agamidae　キノボリトカゲ科

オキナワキノボリトカゲ　*Japalura polygonata polygonata (Hallowell)*　2
奄美大島，徳之島，喜界島及び沖縄本島，慶良間列島などに分布する。先島諸島には，別亜種のサキシマキノボリトカゲを産する。平地から山地にかけて広い範囲で普通に見られる。樹上性で，体色を黄緑色から茶褐色まで変化させる。幹に静止することが多いが，行動はすばやい。

奄美大島　住用村	*1927-07-25*	不明	*RE0-15*
奄美大島　瀬戸内町	*1980-08-20*	昇　善久	*RE0-141*

Scincidae　トカゲ科

オキナワトカゲ（オオシマトカゲ）　*Eumeces marginatus oshimensis (Thompson)*
オキナワトカゲの亜種で，トカラ列島（小宝島，宝島）及び奄美諸島に分布する。海岸付近から集落の石垣，耕地などにすみ，行動は敏捷である。

奄美大島	*1927-07-25*	不明	*RE0-11*

バーバートカゲ　*Eumeces barbouri Van Denburgh*
奄美大島，徳之島，沖縄県の固有種で，オオシマトカゲが海浜地帯の平地にすむのに対し，本種は山地の森林帯に生息し，はっきりしたすみ分けがみられる。

奄美大島　瀬戸内町	*1980-08-30*	又吉　盛健	*RE0-149*

Lacertidae　カナヘビ科

アオカナヘビ　*Takydromus smaragdinus Boulenger*
小宝島，宝島以南の奄美諸島，沖縄諸島の固有種である。尾が長く全身の３／４もあり，平地から山地の草原に広く生息している。

奄美大島　瀬戸内町	*1980-08-30*	昇　善久	*RE0-142*

Typhlopidae　メクラヘビ科

メクラヘビ　*Typhlops braminus (Daudin)*
世界の熱帯，亜熱帯に広く分布し，県内では奄美諸島やトカラ列島などに多く生息するが，山川町でも発見されている。体長２０ｃｍ以下で地中に生息している。

山川町大山	*1983-11-03*	不明	*RE0-167*

アオダイショウ *Elaphe climacophora (Boie)* 3

日本列島の固有種で，県内では大隅諸島が南限である。県内では最もよく知られているヘビである。

鹿児島市城山	*1952-10-04*	吉永＆山田	*RE0-21*
鹿児島市上竜尾町	*1980-07-12*	上妻　博巳	*RE0-163*
屋久島	*1938-07-30*	不明	*RE0-17*

アオダイショウ（骨格） *Elaphe climacophora (Boie)*

不明		不明	*RE0-9*

アカマタ *Dinodon semicarinatus (Cope)* 3

奄美，沖縄諸島の固有種で無毒である。性質は荒く，ハ虫類を捕食する。

奄美大島　瀬戸内町	*1980-08-30*	昇　善久	*RE0-54*
奄美大島　大和村今里	*1980-09-10*	不明	*RE0-62*
奄美大島　大和村今里	*1980-09-10*	不明	*RE0-55*

ガラスヒバァ *Amphiesma pryeri pryeri (Boulenger)*

カラス（ガラス）のように黒いヘビ（ヒバァ）という意で，奄美，沖縄諸島に分布する固有種である。これらの地域では普通にみられる。

奄美大島　瀬戸内町	*1980-08-30*	昇　善久	*RE0-57*

シマヘビ *Elaphe quadrivirgata (Boie)* 3

日本列島の固有種で，トカラ列島の口之島が南限である。体色の変異はいろいろあり，全身真っ黒の個体もいる。

鹿児島市	*1924-07-02*	木原　実	*RE0-10*
鹿児島市城山	*1954-03-28*	不明	*RE0-22*
種子島　中種子町	*1955-03-28*	永井　亀彦	*RE0-80*

シマヘビ（幼体） *Elaphe quadrivirgata (Boie)* 2

鹿児島市城山	*1955-04-09*	重松　隆司	*RE0-26*
不明	*1956-09-24*	不明	*RE0-27*

ジムグリ *Elaphe conspicillata (Boie)*

北海道，本州，四国，九州に分布し，県内でも本土，種子島，屋久島などで確認されている。

不明	*1955-03-30*	不明	*RE0-81*

ジムグリ（幼体） *Elaphe conspicillata (Boie)*

佐多町伊座敷	*1957-10*	牧野　純春	*RE0-94*

ヤマカガシ *Rhabdophis tigrinus tigrinus (Boie)*

県下では，大隅諸島以北の全域に分布し，草地や山麓，水辺にすみ，カエルをよく捕食する。

鹿児島市城山　*1954-06-05*　鮫島　俊広　*RE0-24*

リュウキュウアオヘビ　*Entechinus semicarinatus (Hallowell)*　3
琉球列島中央部の固有種で，小宝島，宝島以南に分布している。無毒蛇で，昼行性で平地から山地まで広く生息している。

奄美大島　名瀬市小宿　*1980-06-18*　中本　英一　♂ *RE0-65*
奄美大島　名瀬市小宿　*1980-06-18*　中本　英一　♀ *RE0-66*
奄美大島　瀬戸内町　*1980-08-30*　昇　善久　*RE0-143*

Elapidae　コブラ科

ヒャン　*Calliophis japonicus japonicus Gunther*　3
体色の美しい小型の毒蛇で，山麓や森林に生息している。奄美大島，加計呂麻島，請島，与路島に分布するが，個体数は少ない。

奄美大島　名瀬市赤崎　*1980-07-15*　中本　英一　♂ *RE0-164*
奄美大島　名瀬市赤崎　*1980-07-15*　中本　英一　♀ *RE0-165*
奄美大島　瀬戸内町　*1980-08-30*　昇　善久　*RE0-148*

Hydrophiidae　ウミヘビ科

アオマダラウミヘビ　*Laticauda colubnina (Schnetder)*
先島諸島以南の海域に分布し，他のウミヘビ同様，性質がおとなしくほとんど危険性がない。しばしば陸上にもあがってくる。

小宝島　十島村　*1980-10-01*　中本　英一　*RE0-158*

エラブウミヘビ　*Laticauda semifasciata (Reinwardt)*　2
琉球列島から，日本本土の黒潮に洗われる地方に分布する。産卵場は温泉の湧出するところで，陸上生活の習性が残っている。トカラ列島の大部分は活火山で好適地で多産地として知られている。当館の故永井亀彦氏の約３０年間に及ぶ研究で陸上で産卵することが実証されたことで有名である。

小宝島　十島村　*1980-10-01*　中本　英一　*RE0-67*
小宝島　十島村　*1980-10-01*　中本　英一　*RE0-157*

ヒロオウミヘビ　*Laticauda laticaudata (Linnaeus)*
琉球諸島以南の海域に分布し，石垣島や西表島の沿岸では個体数が多い。小宝島での記録は分布北限に達するものと思われる。

小宝島　十島村　*1927-07*　不明　*RE0-2*

Viperidae　クサリヘビ科

トカラハブ　*Trimeresurus takarensis Nagai*
トカラ列島の小宝島と宝島に生息する。奄美大島産のハブによく似ている。斑紋の変異はハブに比べて少ない。夜行性で人に与える害もハブほど顕著でなく，毒性も弱い。

宝島　十島村　*1978-08-20*　中本　英一　*RE0-153*

ハブ　*Trimeresurus flavoviridis (Hallowell)*　*4*

奄美諸島の奄美大島，加計呂麻島，徳之島及び沖縄諸島などに分布する。体長は２ｍ以上にもなり，血液神経毒（出血毒）を有する日本で最も恐れられている毒ヘビである。森林，耕地，ソテツ林などに生息し，人家にもネズミ類を求めて侵入することもある。咬傷の被害は多い。

奄美大島　瀬戸内町　*1980-08-30*　昇　善久　*RE0-146*
奄美大島　笠利町　（金ハブ）　*1980-10-05*　中本　英一　*RE0-60*
徳之島　徳之島町山　*1980-09-01*　中本　英一　*RE0-151*
徳之島　徳之島町山　（赤ハブ）　*1980-09-10*　不明　*RE0-61*

ハブ（内臓）　*Trimeresurus flavoviridis (Hallowell)*
不明　中本　英一　*RE0-152*

ハブ（卵）　*Trimeresurus flavoviridis (Hallowell)*
奄美大島　名瀬市小湊　*1979-06-20*　不明　*RE0-69*

ヒメハブ　*Trimeresurus okinavensis Boulenger*　*3*

奄美，沖縄諸島の固有種で，体長は６０ｃｍ位で樹林の湿地などに生息する。鈍重で攻撃性は鈍く，毒性も比較的弱い。

奄美大島　笠利町赤木名　*1980-08-01*　中本　英一　*RE0-166*
奄美大島　瀬戸内町　*1980-08-30*　昇　善久　*RE0-145*
不明　*1927-02-07*　不明　*RE0-6*

マムシ　*Agkistrodon blomhoffii blomhoffii (Boie)*

屋久島を南限とする毒ヘビで，以北の日本全土に分布する。ハブの仲間との比較で渡瀬ラインを証明するものとしてよく取り上げられる。

鹿児島市城山　*1953-10*　永井　亀彦　*RE0-18*